



JTUC-TOKUSHIMA
連合徳島

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



vol. 319

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

当面の日程

- ◎ 8月18日(水)「クラシノソコアゲ応援団！ RENGOKAMPAIN」(JR徳島駅前)
- ◎ 9月26日(日) 中小労働対策本部ワーカーズ検定(初級)学習会(ふれあい健康館)



大谷新会長団結ガンバロウ

連合徳島地方委員会

「働くことを軸とする安心社会」の構築に
向け後期主要課題の方針を承認

新会長に 大谷 竹人さん(自治労) 選出

連合徳島は2021年6月28日、徳島市のグランヴィリオホテルで2021年度連合徳島地方委員会を開き、執行部・地方委員65人など30構成組織85人(内女性16人)が参加。2021春季生活闘争の中間まとめを行うとともに、後期主要課題の取り組み方針などを決定した。

連合徳島は、2021年6月28日に徳島グランヴィリオホテルにて「2021年度連合徳島地方委員会」を開催し、構成組織等から87人が出席した。

冒頭、大谷竹人会長代行の開会挨拶の後、U・A・セン・恵島美奈江地方委員を議長に選出。新居栄治会長からは、「働くことを軸とした安心社会の実現」を目指し、それを具現化していくためには、政治における強い影響力が必要不可欠で

ある。政治家は生活者や労働者に耳を傾け、本当に困っている人を助ける心のこもった政治が出来る方を擁立していくことが大事である。次期衆議院選挙・徳島第2選挙区においては、中野真由美前北島町議を連合徳島が推薦決定し、三好市長選については、高井美穂前県議が出馬表明をし、阿南市議選は連合徳島で推薦決定している橋本幸子市議、福谷美樹夫市議、藤本圭市

議が出馬予定。来年7月に参議院選と多くの選挙が控えている。是非、各構成組織のご支援をお願いする」と挨拶。

来賓として、勝川徳島県商工労働観光部副部長、労働福祉事業団代表として川越徳島県労働者福祉協議会会長、連合徳島推薦議員ネットワークから連帯と激励のあいさつを受けた。

報告事項では、島事務局長から一般経過報告、辻財政局長から2021年度上半期一般会計報告、堤会計監査から会計監査報告が行われ全体の拍手で承認された。議事では、島事務局長から第1号議案・2021春季生活闘争の中間まとめ(案)、第2号議案・2021年度後期主要課題の取り組み方針(案)について提案し、質疑討論の後、全体の拍手で承認された。

第3号議案・2021年度連合徳島役員補充選挙について(案)では、中川役員推薦委員会委員長、谷本選挙管理委員会委員長からの報告後、鶴飼副会長が提



地方委員会には、30構成組織85人が参加

雇用における男女平等に関する労働局要請

2021年7月14日14時から、徳島地方合同庁舎6階会議室において「男女が均

等な機会と待遇で、仕事と生活の役割と責任を分かち合いながら働き続けることができる」、「男女平等参画社会」の実現に向けて、徳島労働局雇用環境・均等室長との意見交換会を実施し、女性委員会から3名が参加した。

冒頭、藤田女性委員長から佐藤室長に要請書を手交し、回答を得た。労働相談窓口の状況やSOGIハラについての研修状況、新型コロナウィルス感染拡大に起因する離職やワクチン接種に伴うハラスメントなどについて

意見交換を行い、男女が共に生きいきと暮らせる社会の実現に向けて、連携をはかり取り組みを進めることを確認し、意見交換会を終了した。



要請書を提出する藤田委員長(左)

第2回連合四国ブロック代表者会議開催

～ 神津会長はじめ連合本部役員と連合四国ブロック代表者が意見交換 ～

2021年7月5日、徳島県労働福祉会館5階会議室において、連合本部神津会長をトップに役員8名と四国ブロック会長・事務局長8名が参加し、「第2回連合四国ブロック代表者会議」が開催された。

冒頭、主催者を代表して神津会長は、「オリンピック・パラリンピックが迫る中、依然として新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組みが求められ、連合の労働運動についても、全国の仲間と連携して日々模索を続けている。第49回衆議院議員選挙については、立憲民主党・国民民主党・連合で政策協定締結の大詰めを迎えている。今回は、リモートではなく対面式で開催できるため、忌憚のない意見交換を期待する。」など、現状と課題について触れた。

その後、四国ブロック代表幹事の森連合香川会長からは、四国ブロック内地方連合会における第49回衆議院議員選挙への対応やコロナ禍での取り組みについて紹介した。

意見交換テーマは①政治関連について②次期連合運動方針についてであった。政治関連では、解散総選挙の時期が不透明である中で、立憲民主党を中心とした連携・体制整備が急がれること、次期連合運動方針



連合本部・四国ブロックから16人が参加

については、素案原案をもとに、各県から質問意見が出され、連合本部担当局から策定の考え方などについて解説が加えられ、新しい運動方針について理解を深める機会となった。

ワーカーズ検定2021・秋(初級)受験のご案内

実施日：2021年11月28日(日) 11:00～11:45

場 所：徳島県労働福祉会館別館5階ホール
(徳島市昭和町3丁目35-2)

組織内申込：2021年8月2日(月)～10月21日(木)

問い合わせ：連合徳島事務局(088-655-4105)



藤原元連合徳島会長が「中小労働運動」について講演

徳島県中小労働対策本部は、2021年6月26日、ふれあい健康館第2会議室にて、コロナ感染予防対策の上で「第1期労働関係セミナー」第4講座を開催し、各構成組織等から28名が参加した。

第4講座では、元連合徳島会長の藤原元顧問より「中小労働運動の前進に向かって」コロナ禍での労働組合はどうあるべきなのか」をテーマに講演し「現在

第1期労働関係セミナー(計5回)開催

労働組合の歴史、労働運動のあり方、団体交渉等を学習

中小労働対策本部

も続くコロナ禍において、労働運動は大規模集会等の開催自粛を余儀なくされる中、連合の「なんでも労働相談ホットライン」に寄せられる相談はパート・短時間で働く人たちからの相談が多く、その働く職場には労働組合が無い場合や、あっても加入出来ないケースもあり、身近に相談できる場所がないという実態がある。労働組合として大切なことは、長時間労働の是正や法令順守のチェック機能はもとより、すべての職場で民主的な手法で職場実態を把握する取り組みが必要である。相談者に寄り添いながら対面による相談を行い、駆け込み寺としての活動を取り組んできた。

労働運動のあり方・存在理由を確認してみると、賀川豊彦氏が「働く者が働く者としての意識を持つことが、人間として一歩前進する思考である」と述べたように、人々の生活の基盤をつくるのが大切であり、『弱い立場にある者が、協力・連帯してこそ不条理に立ち向かえる』と語った。小さな力が合わされば大きな力になる。これらを再確認し、組織として組合員との対話から要求書を作成しているか。丁寧な組織運営と手間を惜しんでいないか。青年部・女性部が生き生きと活動・発言が出来ているのか。を重要視してもらいたい」と述べた。

この第4講座では、労働組合の一員としてどうあるべきかを考えることができ

徳島県中小労働対策本部は、2021年6月26日、ふれあい健康館第2会議室にて、コロナ感染予防対策の上で「第1期労働関係セミナー」第4講座に引き続き、第5講座を開催した。

第5講座では「団体交渉について」をテーマに徳島県農協労連・広峰裕紀副執行委員長より講演をいただき、自組織の春闘における活動紹介と、全国農団労が実施する春闘要求アンケートにより組合員から要求内容を把握することによって統一要求書を作成し、統一要求日に要求書提出するまでを時系列で説明。

主だった活動では、1月上旬から2月下旬にかけて県下56カ所において春闘勝利全組合員学習会を開催して各組合員に春闘方針を理解してもらうために、30回以上の補習で100%の学習会参加率を達成したこと、春闘討論集会では、取り



広峰徳島県農協労連副執行委員長が「団体交渉」について講演



各構成組織から延べ56人が参加

各構成組織から延べ56人が参加

団体交渉の注意事項としては、①交渉の進め方・役割分担②基本的に喋り続けず、聞き上手になる③仕事内容や就業規則を学習しておく④一般論以外に改善点・具体的な提案を心がける⑤問題点の焦点と矛盾をつく⑥執行部内の意見が割れないよう見解を話し合っておく。また「組合員へきちんと報告することが重要であり、交渉の後に職場集会やニュース、メール、ホームページ等で交渉の内容を報告している。また、交渉で得た成果が職場で活かされているのか検証や総括することもある。組合が活性化するためにも執行部のリーダーにかかっている。組合員から組合があったり良かったと思えるよう頑張ろう」と述べた。

第5講座では、春闘でともに闘う仲間の苦勞を知るとともに重要視する点についても参考になることができた。

6月街宣「女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン」を周知

連合徳島は、2021年6月4日、JR徳島駅前で「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」駅前街宣行動を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の上、構成組織等から26人が参加しアピールボード等を使って周知活動を行った。

冒頭、連合徳島新居会長からは、2021年春季生活闘争賃上げ結果について、全国で加重平均5.347円1.81%徳島県加重平均4.426円1.64%であったことを周知したあと「今月から最低賃金の審

議がスタートされ、今年の10月1日からの改定にむけて、それぞれの都道府県で最低賃金審議が行われる。現在、徳島県では1時間あたりの最低賃金が796円であり、1年間一所懸命働いても200万円に満たない方が多くいる。全国の最低賃金の平均は902円である。特に東京都の最低賃金は1,013円と徳島県と比較し217円もの差がある。本来どこで働いても、どのような就労形態であろうとも、賃金は少なくとも生活できる水準を確保した上で働きの価値に見合った

7月街宣 最低賃金、児童労働撲滅など訴え、徳島駅前でアピール

「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」徳島駅前街宣行動を2021年7月13日、JR徳島駅前で開催し、連合徳島各構成組織の参加者27人がアピールボードをもって周知を行った。

冒頭、連合徳島大谷会長から、「最低賃金は、職業や職種にかかわらず、都道府県内の事業場で働くパートタイマー、アルバイト、臨時、嘱託などの雇用形態のすべての労働者に適用され、

世界的にも問題視されてお



道行く人にアピールを行う弁士



横断幕でホットラインを周知

また、新型コロナウイルス感染症の影響による日本経済の悪化から社会経済を再生する上でも、最低賃金引上げは重要な政策の一つだと連合は主張している。今後の最低賃金の動向に注目をしてほしい」と訴えた。

続いて、連合徳島女性委員長藤田委員長、(公財)徳島県労働者福祉ネットワーク川原常務理事、連合徳島推薦議員北島町議会中野議

員からは、「6月8日〜9日に開催予定の女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン」マリッサとくしまとファミリー・サポート・センターの事業案内」について周知した。

街宣活動終了後には、藤田委員長がFM徳島に出演し「女性のための連合全国一斉集中労働相談ホットライン」を周知した。

りSDGsの目標に掲げられている。政府や自治体だけでなく私たち一人ひとりが取り組む必要がある」と力強く訴えた。

続いて、民間大手部会賀川副会長より「最低賃金引き上げの必要性」等について、労働者福祉協議会川越



街宣で最賃等について訴える大谷会長



アピールボードで県民に周知